

令和2年度 事業報告

幸区社会福祉協議会

目次

	頁
重点事業	1
1 幸区社会福祉協議会運営事業	2
2 調査・研究事業	2
3 研修事業	2
4 企画・広報事業	2
5 地域福祉活動事業	3
6 団体等助成事業	4
7 共同募金事業	4
8 福祉パル管理運営事業	4
9 生活福祉資金貸付事業	5
10 ボランティア活動振興事業	5
11 川崎市あんしんセンター事業	5
12 老人いこいの家運営等事業	6
13 老人福祉センター（さいわい健康福祉プラザ）運営事業	6
14 公益事業	6
15 災害活動関連事業	7
16 団体事務	7

令和2年度 事業報告

◆重点事業◆

1 「第4期幸区地域福祉活動計画」に沿った事業の実施

平成30年度から3年間の計画期間の最終年度の取り組みとなりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止した事業がありました。3年間の事業実施を振り返り、検証して第5期幸区地域福祉活動計画の策定作業を行いました。

2 住民交流活動拠点の円滑な運営

区内3か所で展開している「陽だまり」の運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により4月から6月にかけて休所していましたが、1回目の緊急事態宣言解除後に運営委員と協議し連携を密にして感染防止のルールを定めたくえで開所しました。

3 地域拠点における相談体制の充実

老人いこいの家や陽だまり等、住民の方が利用する地域拠点において、身近な相談窓口となるよう、利用者から聞き取った内容で気になることがある時は、関係機関につなげるなどの対応を心掛けました。

4 地区社会福祉協議会と連携した地域課題解決の仕組みづくり

地区社会福祉協議会は、住民に一番近いところで活動をしており、住民の福祉ニーズをいち早く把握することができます。地区社会福祉協議会の定例会等で地域の福祉課題を共有し、解決に向けた取り組みにつなげていけるよう努めました。

5 自主財源確保と啓発強化

広報紙による寄附の呼びかけを行いました。社協活動の啓発については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、社会福祉大会やプラザまつりが中止となり十分な啓発活動とはなりませんでした。さいわい健康福祉プラザ内に作品や活動紹介を展示し、広報啓発に努めました。

事業報告の内容

幸区社会福祉協議会 事業費【51,208千円】

【サービス区分事業活動支出 37,765千円】

【共同募金配分金 13,443千円】

1 幸区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会の開催

ア 常任委員会の開催 3回（5月28日※書面決議、9月3日、2月19日）

イ 運営協議会の開催 1回（2月9日※書面開催）

(2) 会員や賛助会員の増強 令和2年度入会会員

ア 正会員 0

イ 賛助会員 4,261

	R2実績	R1実績
正会員数	94	102
賛助会員数	4,261	5,447

(3) 自主財源の確保

寄附金品の受入れ（寄附金 延10件 188,025円／寄附品 延3件）

(4) 社会福祉士相談援助実習の受け入れ

将来の福祉現場を担う人材養成に協力

実習開始	実習終了	日数	人数	学校名等	実習目的
9/3	10/15	24	1	日本社会事業大学 社会福祉学部3年	社会福祉士 相談援助実習

2 調査・研究事業

(1) 第5期地域福祉活動計画の策定

常任委員会で協議 3回（5月28日、9月3日、2月19日）

3 研修事業

(1) 常任委員会委員及び運営協議会委員研修会の開催

ア 常任委員会を対象とした研修会の開催 1回（3月3日）

4 企画・広報事業

(1) 川崎市幸区社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。区社協会長表彰・感謝は実施し、受賞者に対して地区社協会長及び区社協事務局長から表彰状を授与。

(2) 充実した福祉情報を発信するための機関紙「幸区の社会福祉」の発行

ア 機関紙「幸区の社会福祉」 年3回、各25,000部発行 ※令和2年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により年3回の発行。回覧または全戸配付。

(3) 情報紙「幸区社協通信」の発行

ア 情報紙「幸区社協通信」の発行 月1回、550部発行

(4) ホームページを活用した地域活動紹介と啓発活動の推進

ア ホームページでの情報発信

幸区社会福祉協議会 ホームページ (<http://www.saiwaiku-shakyo.jp/>)

5 地域福祉活動事業

(1) 地区社協との連携

地区社協の定例会等に地域担当職員が出席し情報の共有を図った。また、活動への協力、支援を行った。

(2) 子育て支援事業や会食会等への支援

地区社協等が実施している事業に対し共同募金を財源とした支援を実施。

(3) 地区社協連絡会議の開催

地区社協会長連絡会 2回（7月7日、12月15日）

(4) 住民活動交流拠点（陽だまり3か所）の運営

小倉の駅舎陽だまり、塚越の陽だまり、河原町の陽だまりの3か所について、各運営委員会と協力し運営。

(5) 総合相談事業の体制整備

老人いこいの家や陽だまり等の拠点において、利用者からの相談の聞き取りと関係機関等の情報を提供。

(6) 相談を通じた住民の福祉ニーズの把握

年間総相談件数 1,332件

(7) 移送サービス事業の実施

登録会員 7名 年間利用件数 67件 登録ボランティア20名

(8) 車いすの貸出

区民への車いす無料貸出 79件

(9) 高齢者疑似体験グッズ等の福祉用具の貸し出し

ア 小学校への貸し出し 5校

イ その他地域団体への貸し出し 1件

(10) 福祉用具のリサイクル

ア 譲りたい要望 4件

イ 譲ってほしい要望 0件

ウ 譲渡成立件数 2件

(11) 障害者関係等団体との協働

幸区精神保健福祉連絡会に参画し冊子作成に協力

(12) 子育て支援に関する啓発

ア 広報紙等による子育て支援に関する情報提供

イ 幸区こども総合支援ネットワーク会議に参画しこども情報ネットさいわいの編集、発行に協力（４０号、４１号、４２号を発行）

(13) 「みんなで子育てフェアさいわい」への参加・協力

ア 部会出席 ５回（６月３０日、８月４日、９月２日、９月２９日、１２月８日）

イ みんなで子育てフェアさいわい スタンプラリー実施（１０月１０日から１１月２４日）※福祉パル、陽だまり３か所がスタンプポイントとして参加、団体紹介ポスター掲示

(14) プラザ祭りの開催（幸区民祭と同日開催）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止。共催団体の作品や活動紹介を展示。

6 団体等助成事業

(1) 地区社会福祉協議会への助成

地域福祉活動費 計４，９６８，７０４円

(2) 共同募金を原資とした助成

会食・配食・ミニデイ実施団体助成 １団体 計８０，０００円

子育て支援事業実施団体助成 ７団体 計３５０，０００円

当事者団体活動助成 ２団体 １４０，０００円

ボランティアグループ活動助成 １０団体 ３５５，０００円

(3) 幸区民生委員児童委員協議会への助成

幸区民児協育成費 計１６０，０００円

(4) 社会を明るくする運動等への助成

社会を明るくする運動 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

リレーカーニバル ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

幸区民祭協賛 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(5) 高齢者ふれあい活動実施団体への助成

ア 会食活動に助成 ２２団体 計 １，１７４，０００円

イ 配食活動に助成 １団体 計 ２５５，０００円

ウ ミニデイサービス活動に助成 ３団体 計 ２７７，０００円

7 共同募金事業

(1) 福祉ニーズを持つ世帯への年末慰問金品配分事業

年末慰問金配布 ３６８世帯・計１，８４０，０００円

年末慰問品配布（お茶） ２，６００世帯・計１，７６９，０４０円

8 福祉パル管理運営事業

(1) 研修室およびボランティアコーナーの貸出し

- 研修室 164件、ボランティアコーナー 133件
- (2) 地域福祉活動に必要な印刷機等の機材、機器の貸出し
 - (3) 情報コーナーの設置によるチラシ・ポスター等の掲示

9 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

- ア 区内貸付決定件数 15件
- イ 区内特例貸付決定件数 1,993件

10 ボランティア活動振興事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

運営委員会 2回（7月2日、1月13日）

(2) ボランティア依頼および活動希望の相談・調整

- ア ボランティア活動希望への相談・情報提供 25件（令和元年度 36件）
- イ ボランティア募集の依頼 16件（令和元年度 43件）
- ウ ボランティアによる支援 11件（令和元年度 37件）

(3) 各種講座・セミナーの開催

ア ボランティア講座の開催

- (ア) チャレボラ2020（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）
- (イ) 『声』のボランティア、はじめてみませんか（2月24日）参加者11名
- イ ボランティア活動パワーアップセミナーの開催
 - (ア) 移送ボランティアフォローアップ研修（1月29日、2月1日 ※同一内容）
参加者13名
 - (イ) 移送ボランティア交流会（1月29日、2月1日）参加者12名
 - (ウ) ボランティア交流会〔オンライン勉強会〕（3月3日）参加者49名

(4) 福祉教育の推進

- ア 福祉教育に関する相談 8件

11 川崎市あんしんセンター事業

援助が必要な高齢者や障害者が、地域の中で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と密に連携を図りながら事業を実施した。

(1) 日常生活自立支援事業および成年後見制度など、高齢者や障害者の権利擁護に関わる相談

相談件数 1,584件（初回相談 65件、継続相談 1,519件）

（※令和元年度相談件数 1,385件/初回相談 86件、継続相談 1,299件）

(2) サービスの利用

日常的金銭管理サービス利用者数 50名

書類等預かりサービス利用者数 11名

1.2 老人いこいの家運営等事業

(1) 老人いこいの家の管理運営

総合相談窓口 利用者からの聞き取りにより助言や関係機関を案内。

適切な管理 不良個所の迅速な修繕、管理人による日常的な点検。緊急時対応マニュアル、土砂災害対応マニュアルの設置。避難訓練を各施設年2回実施。

教養講座 11講座 年113回開催

入浴事業 入浴事業実施回数 246回

老人いこいの家まつりの開催 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、まつりは中止。代替として作品展を開催（多世代・地域交流事業と同時開催）。

多世代・地域交流事業の実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面での交流事業は行わず、老人いこいの家利用者の作品とこども文化センターやわくわくプラザ、近隣保育園や小学校のこども達の作品を一緒に展示する作品展を開催（老人いこいの家まつり代替事業と同時開催）。

老人いこいの家運営委員会の開催 10回（7月22日、8月25日、9月16日、9月28日（2か所開催）、10月7日、11月18日、11月26日、12月8日、3月4日）

1.3 老人福祉センター（さいわい健康福祉プラザ）運営事業

「老人福祉（・地域交流）センター」の指定管理運営事業について、市社協と協働して適正な管理運営を実施。

(1) さいわい健康福祉プラザ（老人福祉センター）の運営

年間利用者数 7,820名

相談事業 健康相談 月4回 内科医、整形外科医が交代で実施

生活相談 随時対応（看護師による健康相談・血圧測定実施）

講座 9講座実施

行事 ボッチャ体験会、踊ろう会の実施。プラザ祭りの中止により、代替としてプラザ祭り共催団体合同の作品展、活動紹介展示を実施

1.4 公益事業

(1) 高齢者外出支援事業（高齢者フリーパス交付）の実施

販売実績 延べ4,334件

1 5 災害活動関連事業

- (1) 災害時におけるボランティアセンターの役割について検討

1 6 団体事務

関係する団体の事務局として運営・活動の支援協力を行った。

- (1) 神奈川県共同募金会幸区支会への協力

募金実績 一般募金 12,953,081円 達成率 81.2%

年末たすけあい募金 8,474,513円 達成率 78.5%

- (2) 幸区民生委員児童委員協議会

幸区民児協の事務局として、研修会の開催やその他各種会議等に協力。